

近世スコラ学における

共同体思想の発展



上智大学中世思想研究所主催／神学・哲学史研究会共催

2018 11/17 Sat. 10:30~16:30

上智大学2号館4階（401教室）※開場10:00・入場無料・事前申込不要

司会・進行 午前の部：阿部 善彦（立教大学准教授・当研究所準所員）
午後の部：梅田 孝太（上智大学非常勤講師・当研究所準所員）

シンポジウム 10:45-12:30 近世スコラ学における共同体思想の諸問題

スアレス『法律叙説』第1巻における*ius*と*lex*——用法と近代政治思想史的射程

飯田 賢穂（日本学術振興会特別研究員PD）

近世におけるキリスト教共同体の拡大——大航海時代のインパクト

小田 英（早稲田大学現代政治経済研究所特別研究員）

講演

13:30-14:30 中世フランシスコ会における共同体論と経済思想

——ペトルス・ヨハネス・オリヴィとシエナのベルナルディーノ

山内 志朗（慶應義塾大学教授）

14:45-16:30 全体討議

連絡先：上智大学中世思想研究所

☎03-3238-3822 imdthght@sophia.ac.jp

上智大学四谷キャンパス：JR中央線・東京メトロ丸ノ内線・南北線 四ツ谷駅 麴町口・赤坂口徒歩5分



Sophia Open Research Weeks 2018

11/9 fri. — 23 fri. Sophia University's Yotsuya Campus



講演会のご案内

上智大学中世思想研究所主催／神学・哲学史研究会共催

近世スコラ学における共同体思想の発展

上智大学中世思想研究所は、本年も上智大学研究機構主催Sophia Open Research Weeks 2018の一企画として、研究協力関係にある神学・哲学史研究会とともに、若手研究者を企画担当とする講演会を開催いたします。市民生活を営む中、自らの帰属する「共同体」の在り様について問題を感じることは誰にでもあります。今回、企画担当者は共同体論を近世スコラ学に立ち戻りつつ主題といたします。世代や専門、登壇者とフロアの垣根を超え、共に思索し合う時間を持つことができましたら幸いです。一般の皆さまのご来場も心より歓迎いたします。

上智大学中世思想研究所所長
佐藤直子

講演会の趣旨

「人間は自然本性的にポリス的動物である」。アリストテレス（前384-322年）以来、共同体形成が人間にとって本質的な事態であることは広く認められています。しかし、共同体についてより踏み込んで論じる段になると、にわかに議論が紛糾します。共同体の成立要件および存続可能性の要件は何か、共同体間の関係のあるべき姿はいかなるものか。今回の講演会は、これらの古くて新しい問題に、中世後期から近世のスコラ学を通して迫ります。この時代、共同体に関する理論は大きく進展しました。中世後期には経済的思想を観点とした共同体論が出現します。15世紀末からは「新大陸」その他の地域との接触が、権力の正統性をめぐる議論を活性化し、近代の国家概念を準備することになります。本講演会では、三つの講演をいただきながら、現代にも影響を与えている近代共同体論の形成の場面に立ち戻り、共同体をめぐる思索を深めていきたいと考えます。

企画担当（当研究所準所員）：阿部善彦（立教大学文学部准教授）
梅田孝太（上智大学文学部非常勤講師）
坂本邦暢（明治大学文学部専任講師）

日時：2018年11月17日（土）10:30～16:30（開場 10:00）
会場：上智大学2号館4階（401教室）

10:30-10:45 開催ご挨拶・講演会の趣旨説明

10:45-12:30 シンポジウム「近世スコラ学における共同体思想の諸問題」（司会：阿部 善彦）

「スアレス『法律叙説』第1巻における*ius*と*lex*——用法と近代政治思想史的射程」

飯田 賢徳（日本学術振興会特別研究員PD）

「近世におけるキリスト教共同体の拡大——大航海時代のインパクト」

小田 英（早稲田大学現代政治経済研究所特別研究員）

12:30-13:30 昼休憩

13:30-14:30 講演「中世フランシスコ会における共同体論と経済思想

——ベトルス・ヨハネス・オリヴィとシエナのベルナルディーノ」

山内 志朗（慶應義塾大学教授）（司会：梅田 孝太）

14:30-14:45 休憩

14:45-16:30 全体討議（コメンテーター：坂本 邦暢）

連絡先：上智大学中世思想研究所

☎03-3238-3822 imdthght@sophia.ac.jp

上智大学中世思想研究所配属研究補助員 加藤 之敬

上智大学四谷キャンパス：JR中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線 四ツ谷駅 麴町口・赤坂口徒歩5分